



横浜市立大鳥中学校

平成 27 年 10 月 5 日発行

学校だより

平成 27 年度 10 月号

自分に自信を持ち、自他を肯定的に受け止める

校長 水木 尚充

10月は、2学期制の大鳥中学校にとっては前期が終了し、後期が始まる節目の月になります。平成 27 年度の前半 6 カ月の振り返りを行うことで、成果と課題を確認して後期の新たな目標を定めていく時期ということになります。生徒の皆さんは小学校でも同じような話を聞いた経験があるでしょうし、大人も職場など様々なところで言われていることです。

「これまでを振り返り、新たな目標を定めそれに突き進んでいく」ということは、「失敗してもくじけず、前向きの気持ちを常に持ち続けること。物事に積極的にチャレンジしていくこと。」ということであり、決して簡単なことではありません。

『自尊心』が高い人ほど、チャレンジ精神があり成績や仕事の業績がアップし、自分を大切にするだけではなく他の人への思いやりの気持ちを持てると言われています。この『自尊心』とは、自分自身を価値のある人間だと感じる感覚、自分自身を好きだと感じたり、大切な存在だと感じたりする感覚と言われています。長所や短所、できることもあればできないこともあることすべてを含んで、自らを肯定的にとらえ自分をかけがえのない存在と認識することでもあります。もう少し具体的に説明すると「自分には価値がある。」とか「ありのままの自分でいいんだ」、「生まれてきてよかった」、「自分にはできることがある」、「自分は誰かの役に立っている」などと思える感情です。自己肯定感や自己有用感を土台に形成されるとも言われています。この『自尊心』の低い人は、「自分に自信が持てず、人間関係に不安を感じたりする」、「人間関係を避けたり、信頼関係を築くことができず、物事に積極的に挑戦したり、関わったりすることができない」と言われています。子どものいじめ・暴力・学業不振・不登校・喫煙・飲酒などの根底にはこの『自尊心』の問題があるとされています。犯罪者の多くは、虚勢を張って威張っているように見えますが、実は自分に自信がなく『自尊心』が低いために、他者も自分自身も大切にすることができないということなのです。

『自尊心』は、身近な人との共有体験の中で築き上げられたり、成果や努力を認められ実感するといった体験を通して築き上げられたりするものだそうです。まずは、最も身近な存在である家族と緊密な共有体験を重ねることが『自尊心』を育む基礎となるわけです。学校教育の中でも、「自分の力でやり遂げる体験とそれを支え、自信を持たせる支援」や「集団で自分の役割を果たす体験と、互いを認め合う集団づくり」が重要です。

大鳥中学校でも、研修や研究授業を通じて「自分の力でやり遂げる体験とそれを支え、自信を持たせる支援」の視点からの授業づくりを推進しているところです。また、今月 23 日に開催される合唱コンクールに向けた取組では、まさに「集団で自分の役割を果たす体験と、互いを認め合う集団づくり」の実践でもあります。保護者の皆様には合唱コンクール本番で、生徒たちが学校での共有体験を通じて、自分に自信を持ち、自他を肯定的に受け止める『自尊心』が高まっているかという視点も加えて、生徒たちの姿を見届けていただきたいと思います。

◇ 横浜国大との連携による『放課後学習支援』始まる

9月4日から、横浜国立大学との連携による「放課後学習支援」が始まりました。この取組は、横浜国立大学教育人間科学部の「学習環境デザイン研究」との連携により実施しています。10月までは、体験参加という意味合いもあり、自由参加になっています。11月以降は、日が短くなることもあり安全確保と学習支援の効果を高めるねらいから事前登録制で実施する計画です。



週に1回、約1時間程度で行っていますが、現在参加者は20人前後です。毎回6人前後の大学生と本校非常勤講師2人が生徒一人ひとりの学習状況に応じて、学習支援を行っています。

中学生にとっては歳の近い大学生と一緒に少人数で自分のペースで学習に取り組むことができています。苦手な教科の克服に、得意教科の応用力アップなど、目的はそれぞれで違いはありますが、どの生徒も和やかな雰囲気の中伸び伸びと学習に取り組んでいます。

◇ 中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭

10月1日（木）、三ツ沢公園陸上競技場で、横浜市中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭が「超絶勝利 ベストを尽くして限界突破」をスローガンに開催されました。大鳥中学校の学習室からも11人の生徒が参加し、各種競技でそれぞれの力を精いっぱい発揮していました。

開会セレモニーで、橘中学校の生徒が高らかに大会スローガンを読み上げると体育祭ムードが一気に盛り上がり、競技が始まるや陸上競技場のメイントラックは声援の声や歓声に沸きあがりました。

大鳥中の生徒は、鈴木美紀さんが女子50m走で横浜市2位の、男子50m走で西本海さんが3位のタイムをたたき出すなど大活躍でしたが、お昼前に降り出した雨のため午後の部が中止になったのがちょっと残念でした。



◇ 9月の表彰

9月14日（月）の朝会で、表彰を受けた部活動・個人は次の通りです。

- 横浜こども国際スピーチコンテスト 奨励賞 荻野 文美子（3年）
- 席書大会 佳作 田口 絵里菜（2年）
- 柔道部 日神杯柔道大会 敢闘賞 清 智花子（2年）
敢闘賞 久留原 花凜（1年）



**** 進路指導主任より ****

大鳥中学校の進路指導主任の田嶋と言います。9月10日に実施したPTA主催の高校見学会について報告します。

強めの雨が降る、あいにくな天候の中、PTAの学年委員の皆さんが中心となって企画された、高校見学会が行われました。3年生の保護者はもちろん、1・2年生の保護者の参加もあり、大型バスの座席はいっぱいとなりました。今回は県立金沢総合高校、横浜創学館高校、県立横浜栄高校、県立磯子高校の4校を訪問しました。

1校目は県立金沢総合高校。京急富岡またはシーサードライン並木中央から通うことができる、単位制総合学科の高校です。普通科の科目も、専門学科の科目も履修が可能である総合学科の特徴の説明や、生徒個々の進路実現に向けたサポート体制の説明がありました。

2校目は横浜創学館高校。男女共学の私立高校で、校歌を作成したのは、卒業生でもある小田和正さんだそうです。普通科のコース説明もありましたが、来年から制服が変わることも注目点でした。京急金沢八景から徒歩で15分程度の距離にあります。

3校目は県立横浜栄高校。栄区上郷にある単位制普通科の高校です。教室の一部が自習室に。そこには「自習を制する者は受験を制す」と。45分×7時間の授業の実施ですが、基本は1科目について、45+10(休憩)+45と100分で2時間続きの授業が原則展開されるそうです。

最後は県立磯子高校。磯子区上中里にある普通科の高校です。中学校とあまり変化がなく高校生活を送るには適した学校です。この学校の最大の特徴はログハウス。学食になっているのですが、現在県立高校で、学食があるのは定時制が併設されていないと設置できないそうで、全日制で学食がある珍しい高校なのです。

実際に高校を訪れることで、その学校の特色がよくわかる見学会でした。また、どの学校も女子の制服にストラップを導入する方向であること、県立高校は再び再編計画があり、各学校の特徴をさらに出していく方針であることなど、進路主任としてさまざまな高校の先生と情報交換ができました。本当にありがとうございました。そして、大鳥中にバスが到着するころには雨も上がり、これからのみなさんの明るい進路を示してくれているようでした。

おわりに、いろいろな高校の先生から、中学3年生へのアドバイス。

「文化祭や学校説明会で、先輩にあたる高校生を感じ、自分に合っているかどうかを確認して欲しい。また、3年間絶対に通い続けることができる学校を選ぶことが大切です！」

**** お知らせ ****

- 10月9日(金)、前期終業式です。
- 10月13日(火)、後期始業式です。
- 10月14日(水)～15日(木)、学習室合同宿泊学習が実施されます。
- 10月15日(木)～16日(金)の8:30～17:30、植栽の剪定作業が行われます。近隣にお住まいの方には、ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれません。ご理解をお願いいたします。
- 10月23日(金)、文化祭(合唱コンクール)が開催されます。
- 10月24日(土)、交遊祭が開催されます。
※ 10:00からは、スケアードストレート方式の交通安全教室が行われます。スケアードストレート方式とは、受講者の目の前でスタントマンが交通事故を再現し、その衝撃や怖さを実際に体感することです。地域の方や小学生もぜひご覧ください。
- 10月29日(木)、5校時 公開授業、1・2年学級懇談会、3年進路説明会を行います。
- 10月30日(金)、3年進路面談が始まります。

